

蓄電システムの設置条件について

対象機種：ESS-T1/T2シリーズ

■必要な離隔距離(設置スペース)

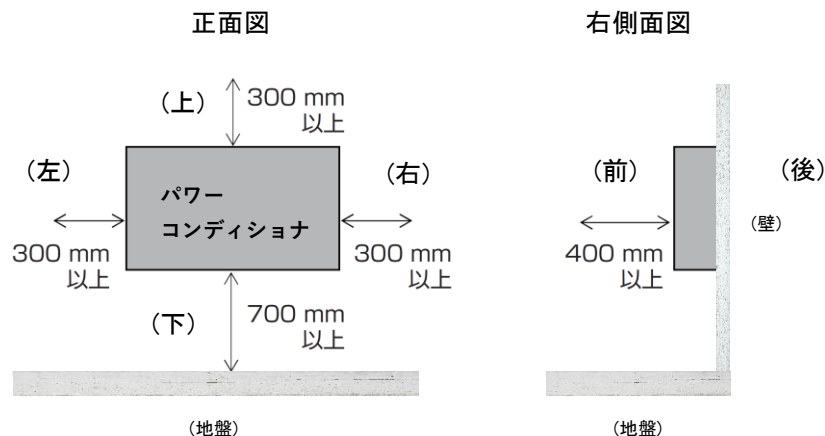
各機器には、機能、性能を確保するために、下記のスペースが必要です。

①パワーコンディショナ(屋外設置)

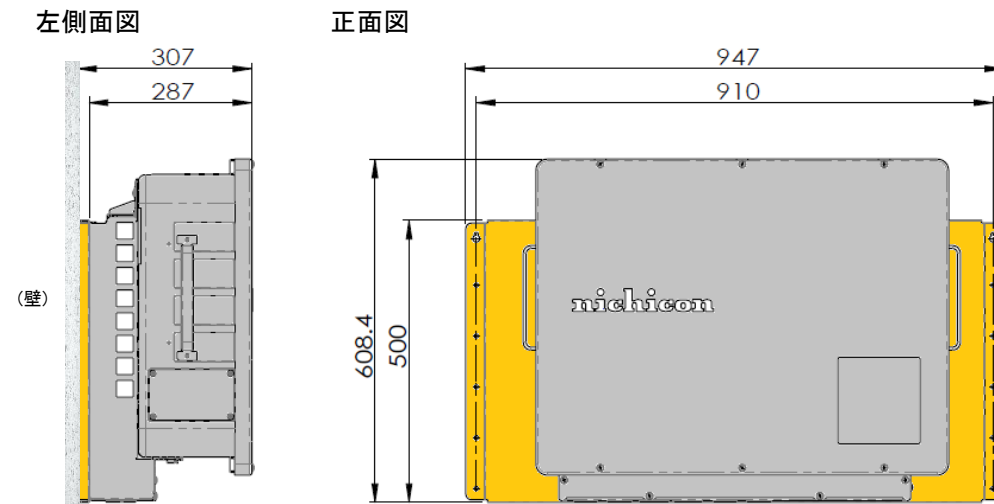
前面：400mm以上、左側面：300mm以上、右側面：300mm以上、上面：300mm以上、下面：700mm以上

のスペースが必要です。(下図参照)

◆設置スペース図



◆パワーコンディショナのサイズ



※上記スペースが確保されていない場合、アフターサービスを実施できない場合がございます。
高所設置の場合、アフターサービスに時間がかかる場合があります。

※黄色部分：汎用パワコン取り付けボード(ESS-H4)／別売品
・柱の間隔が910mmの住宅にパワーコンディショナを取り付ける際、取付強度を確保するために使用します。

②蓄電池ユニット(室内設置)

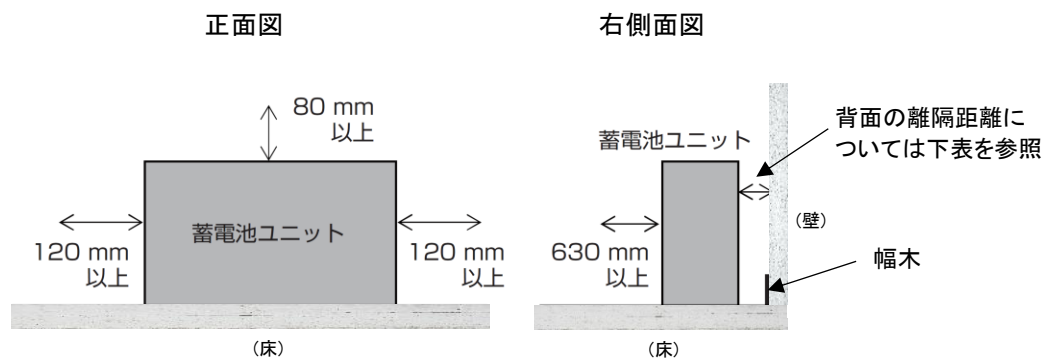
(1)増設電池ユニットを設置しない場合

前面:630mm以上、左側面:120mm以上、右側面:120mm以上、上面:80mm以上、背面:20mm+(幅木高さ-50mm)以上の

のスペースが必要です。(下図参照)

(幅木高さが50mmより低い場合は、幅木高さ=50mmとしてください。下表「背面離隔距離目安表」を参考にしてください。)

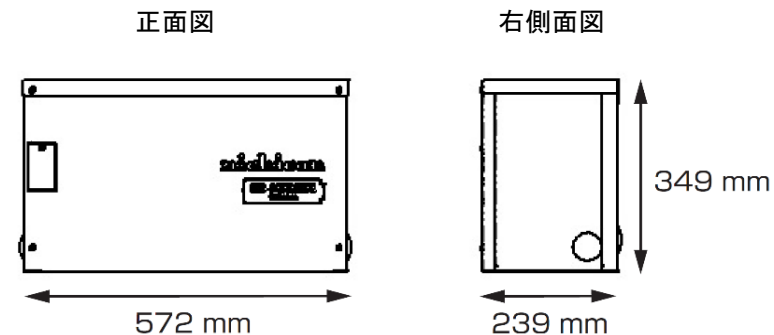
◆設置スペース図



幅木高さ	離隔距離
50 mm 以下	20 mm
60 mm	30 mm
70 mm	40 mm
80 mm	50 mm
90 mm	60 mm
100 mm	70 mm

背面離隔距離目安表

◆蓄電池ユニットのサイズ



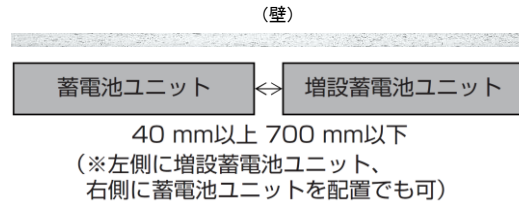
※上記スペースが確保されていない場合、アフターサービスを実施できない場合がございます。

(2)増設電池ユニットを設置する場合

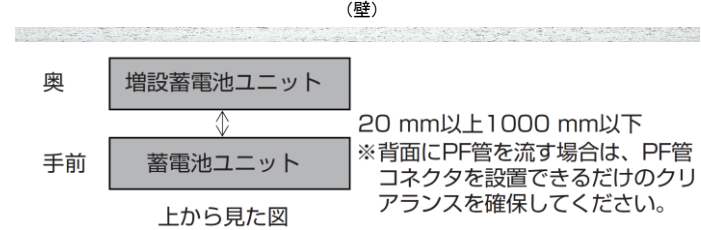
蓄電池ユニットと増設蓄電池ユニットのクリアランス：40 mm 以上700 mm 以下(左右配置)
20 mm 以上1000 mm 以下(前後配置)

※蓄電池ユニットと増設蓄電池ユニット間の最大距離はケーブルの長さで制限されています。

上面図(左右配置の場合)

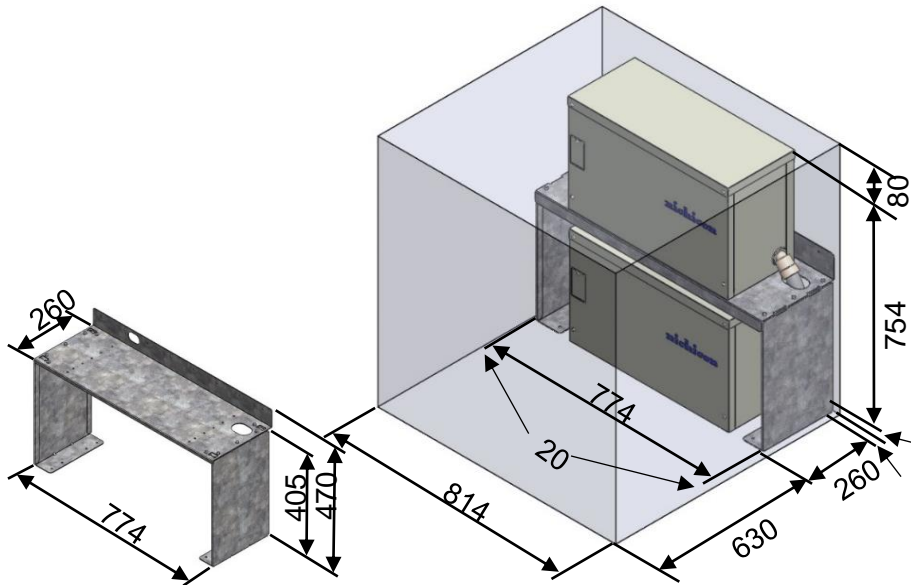


上面図(前後配置の場合)



※上記スペースが確保されていない場合、アフターサービスを実施できない場合がございます。

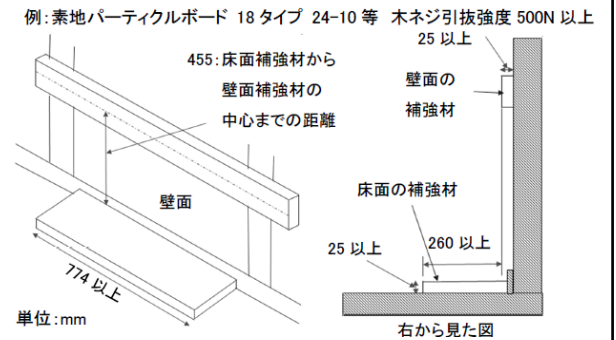
(3)蓄電池増設ラックを使用する場合



- ※1 は床面の補強材の高さになります。
※2 は壁面との距離で幅木の高さによって変わります。
- 計算式
壁面からの離隔距離＝
幅木高さ－床面補強材の厚み－30＋壁面補強材の厚み
- 例：幅木高さが100mm、床面補強材の厚み25mm、
壁面補強材の厚み25mm
- ⇒幅木高さを100－25＝75mmとして、
壁面からの距離は70mm
- ※1
※2

事前に補強材の準備が必要です

- 必ず、壁面と床面に補強材を設置してください。
- 壁面の補強材は、強固な柱等に締結してください。
 - 床面の補強材は、床下の根太3本をまたぎ、かつ蓄電池ユニットのベースプレートを取り付けた状態で、床に固定できるサイズとしてください。
- 下図の横：774mm、奥行き：260mmは最小寸法となります。
- 補強材は下記材料の強度以上のものを選んでください。



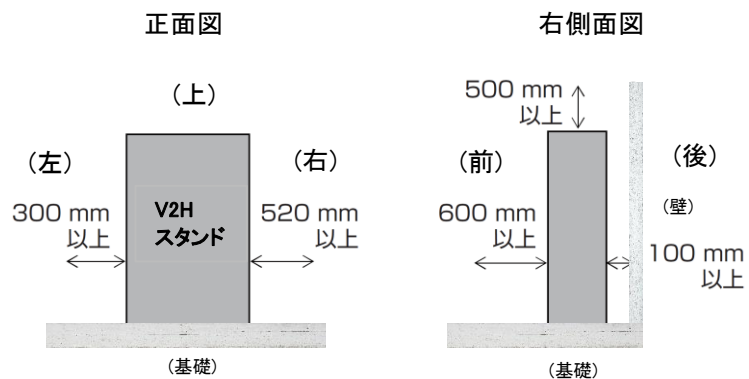
③ V2Hスタンド(屋外設置)

前面: 600mm以上、左側面: 300mm以上、右側面: 520mm以上、上面: 500mm以上、背面: 100mm以上

のスペースが必要です。

(下図参照)

◆設置スペース図



※上記スペースが確保されていない場合、アフターサービスを実施できない場合がございます。

■塩害の影響による設置可否について

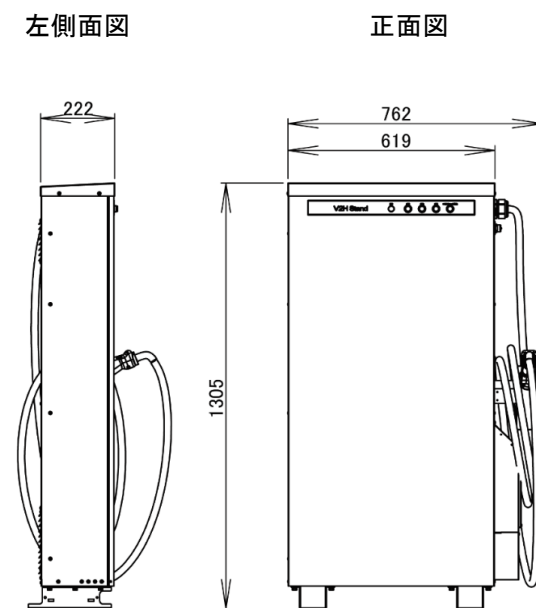
パワーコンディショナおよびV2Hスタンドが設置可能な場所を下表のように定めています。

パワーコンディショナおよびV2Hスタンドは、「沖縄・離島以外の地域」、且つ、重塩害以外の場所であれば設置可能です。

地域による区分 塩害レベルによる区分	地域による区分	
	沖縄・離島	沖縄・離島以外の地域
重塩害	×	×
重塩害以外	×	○

○：設置可、×：設置不可

◆V2Hスタンドのサイズ



■地域による区分について

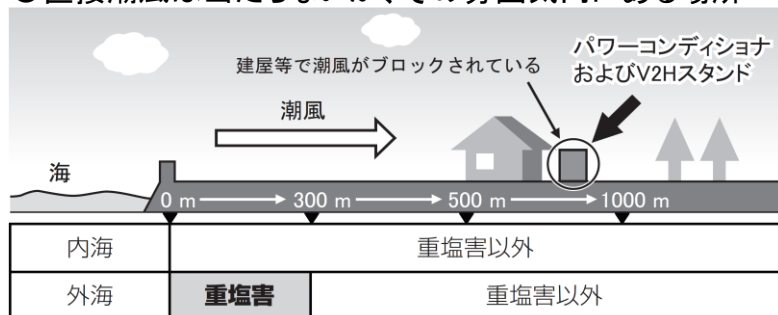
地域を「沖縄・離島」と「沖縄・離島以外の地域」で区分しています。

※離島: 本土から離れ、四方を海で囲まれている島で内海に浮かぶ島(淡路島を除く)

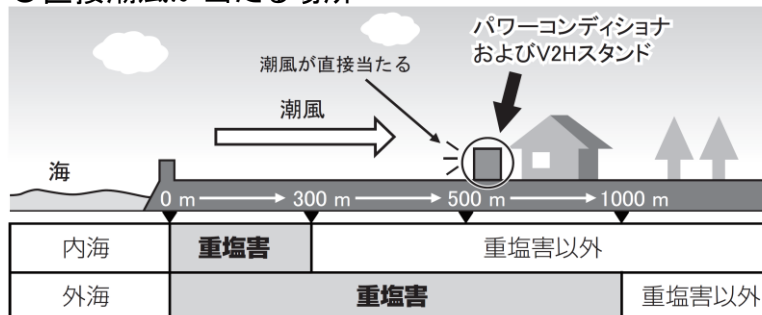
■塩害レベルによる区分について

塩害レベルを下記のように「重塩害」と「重塩害以外」で区分しています。

●直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場所



●直接潮風が当たる場所



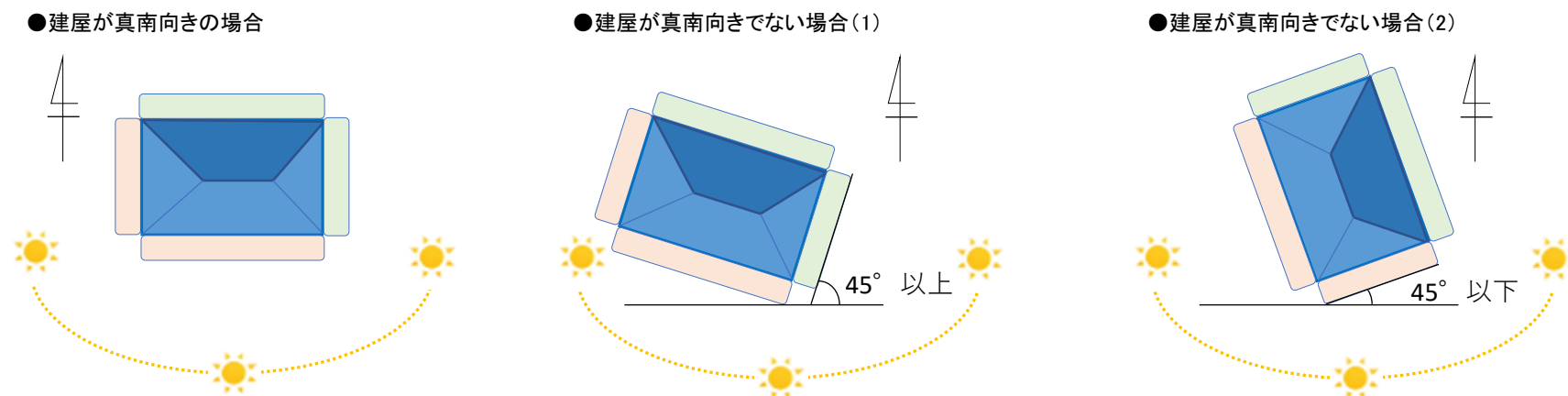
※ 内海: 瀬戸内海、東京湾、伊勢湾

外海: 内海以外の海

※上記条件を満たさない場所への設置による不具合は保証の免責となります。また、被害の程度によってはアフターサービスを実施できない場合がございます。

■日除け板が必要な設置の向き

午前中の日射4.5時間、午後の日射2時間以上、直射日光が当たる場所への設置はパワーコンディショナ用の日除け板を付けてください。



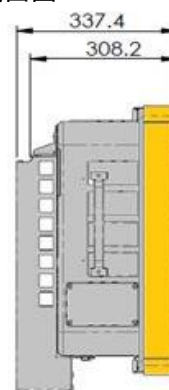
- OKの蓄電システム設置位置(日除け板不要)
- NGの蓄電システム設置位置(日除け板必要)

※上記条件を満たさない場所への設置は、蓄電システムの温度上昇を招き、意図しない運転停止や製品寿命の短縮などに繋がる恐れがあります。

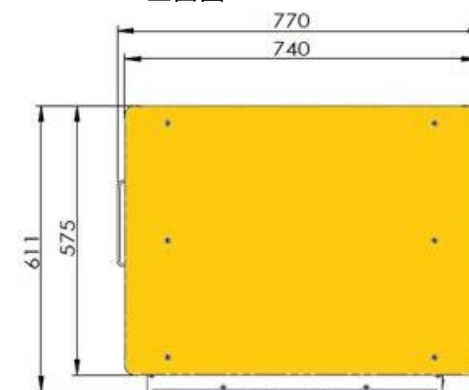
※上記条件を満たさない場所への設置で起きた故障や不具合は、保証の免責となります。

※蓄電池ユニットは室内専用設計のため屋外には設置できません。

左側面図



正面図



- ※黄色部分：日除け板(ESS-H3)／別売品
- 日除け版を取り付けていただくことで、温度上昇を防ぎ、上記NGの位置にも設置が可能です。

■その他設置に関する注意事項



警告

■下記のような場所には設置しない

パワーコンディショナ

- 標高 2000 m より高い場所
- 岩礁隣接地域
- 塩害の影響を受ける場所 (7 ページ)
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのある場所
- 振動、衝撃の影響が大きい場所
- 油蒸気、結露のある場所
- 浸水のおそれがある場所
- 電界の影響が大きい場所
- 直射日光が当たる場所
- 風通しが悪い場所
- 結露および氷結のある場所
- 下記の温度範囲以外の場所
- 30℃ ~ +40℃
※ - 20℃ ~ +40℃以外の温度範囲の場合は、動作を停止します。

蓄電池ユニット / 増設蓄電池ユニット

- 屋外
- 温度変化が激しい場所
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのある場所
- 振動、衝撃の影響が大きい場所
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露のある場所
- 浸水のおそれがある場所
- 電界の影響が大きい場所
- 直射日光が当たる場所
- 下記の温度範囲以外の場所
- 10℃ ~ +40℃
※ただし、0℃ ~ +40℃以外の温度範囲の場合は、動作を停止します。

V2H スタンド

- 標高 2000 m より高い場所
- 岩礁隣接地域
- 塩害の影響を受ける場所 (7 ページ)
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのある場所
- 振動、衝撃の影響が大きい場所
- 油蒸気、結露のある場所
- 浸水のおそれがある場所
- 電界の影響が大きい場所
- 風通しが悪い場所
- 結露および氷結のある場所
- 下記の温度範囲以外の場所
- 30℃ ~ +40℃
※ - 20℃ ~ +40℃以外の温度範囲の場合は、動作を停止します。

室内リモコン

- 屋外
- 温度変化が激しい場所
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのある場所
- 振動、衝撃の影響が大きい場所
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露のある場所
- 浸水のおそれがある場所
- 電界の影響が大きい場所
- 直射日光が当たる場所
- 通風を妨げる押入れや階段下などの狭い場所
- 操作が困難で、表示部が確認しづらい場所
- 下記の温度範囲以外の場所
0℃ ~ +40℃



注意

■積雪地での蓄電システム設置方法

積雪地では、以下の点を考慮の上、設置工事をしてください。

1. 設置環境

パワーコンディショナおよび V2H スタンドは雪で埋没しないような設置が必要です。特に、背面の吸排気口が塞がれてしまうと蓄電システムが異常停止する可能性が高くなります。基礎硬さ、雪囲いなどにより、パワーコンディショナおよび V2H スタンドの埋没を防止するように工事してください。

パワーコンディショナおよび V2H スタンド上部に建物の屋根などから雪庇、つららなど落下する可能性がある場合は、これらの機器の上部に保護用の屋根などを設置して破損を防止してください。

2. 積雪荷重

パワーコンディショナおよび V2H スタンドの積雪耐荷重は、6000 N/m²にて設計されております。地方自治体により積雪耐荷重の基準が異なりますので、設置地域の条例をご確認ください。また、雪質・積雪量によりこれ以上の荷重が加わる場合がありますので、現地の積雪事情を考慮の上、屋根の設置等の対応をしてください。

3. 基礎高さ

基礎高さは、融雪水がパワーコンディショナおよび V2H スタンドに流れ込まない様にかさ上げをしてください。地盤面より 40 cm 以上を推奨します。また、降雪期間中は、降雪毎に除雪をお願いします。

